

令和4年度地域運動部活動推進事業 休日の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書（概要）

登別市

（地域における現状・課題）

登別市においては、他の自治体同様、人口減少・少子化により、部活動の減少が進み、生徒が希望するスポーツ活動を行うことができない状況が進展していることから、令和3年度から休日の部活動の段階的な地域移行に関する実践研究に取り組んできた。部活動は、地域のスポーツ振興という点においても、重要な役割を担ってきたことから、地域スポーツ全体の課題として認識し、これまでの実践研究の成果などを踏まえた早急な対応が求められている。

（地域移行の推進に向けた体制整備の取組概要）

運営主体：登別市（検討・運営会議：地域スポーツのあり方検討委員会）

活動場所：登別市立幌別中学校、登別市青少年会館

指導者：地域競技団体（登別市バレーボール協会）

移動手段：徒歩、自転車（大会等への参加については現地集合）

責任主体：登別市

活動種目：バレーボール

会費等：0円

保険：スポーツ安全保険

（実践研究の成果）

令和3年度から継続して地域運動部活動を実施することにより、本市における地域移行に向けた機運の醸成を図った。

また、令和2年度に設立し、部活動の地域移行を含めた地域スポーツの振興について、議論を重ねてきた「地域スポーツのあり方検討委員会」が、令和4年12月にこれまでの検討結果を提言書としてまとめ、登別市及び登別市教育委員会に提出。登別市においては、本提言内容等を踏まえて、令和5年度以降、新たな地域クラブを設立・運営する一般財団法人登別市文化・スポーツ振興財団を支援し、一体となって地域クラブ活動の推進を図ることとした。

（運営体制図）

